

2022年～2024年 活動報告について

養父市地域おこし協力隊 鵜殿 瞳(うどのひとみ)

令和6年4月5日作成



はじめに

地域おこし協力隊制度は最長3年間の活動期間と定められていますが、令和3年に総務省から発表された「新型コロナウイルス感染症により活動に影響を受けた地域おこし協力隊の任期特例」を、養父市で導入。この制度を活用して、任期の延長を養父市より受け地域協力活動を続けてきました。令和5年度3月31日を持って任期満了となりました。

協力隊
4年目～5年目
の挑戦



1年目の思い出

「養父市に恋してきました!」



2年目の思い出

「友達も仲間も増えました!」



3年目の思い出

「旅立ち。新しいミッションへ!」

それまでの詳しい活動内容については
別資料にてご報告しています。

新型コロナウイルス感染症により活動に影響を受けた地域おこし協力隊の任期特例とは

「新型コロナウイルス感染症により活動に大きな制約を受け、任期中に十分な活動ができていない、又は任期終了後の起業が遅れている隊員が一定数いることから特例措置を創設。本人の希望を踏まえ、受入自治体が「任期の延長が必要」と認めた場合には、2年を上限として任期の特例を認めることとし、他の隊員と同様に報償費等について特別交付税措置任期特例を講じる。」というもの。

※【参考文献】総務省/地方行政
地域おこし協力隊ページ

養父市地域おこし協力隊活動報告

鵜殿 瞳 (うどの ひとみ)

令和4年3月2日 (水曜日)
やぶ市民交流広場Ybファブ

自己紹介

- 名前

鵜殿 瞳（1988年生、射手座、O型、パーソナルカラーは鮭色）

- 出身は？

横浜→千葉県→東京都→神奈川県鎌倉市→養父市（2019年5月13日）

- なぜ養父市に？

移住マッチングサイト「SMOUT」内の、養父市の募集

「ほたるの美しい田舎で暮らしながら、宿泊施設の支配人になれます！」の記事を見たことがきっかけ。初めて訪れた際に、ほたるの館や地域の魅力を感じて応募しました。

活動内容

- ①奥米地の宿泊施設「ほたるの館」の運営支援
- ②奥米地地域の祭りを支援
- ③施設PRのためのイベント開催
- ④SNSを使った情報発信
- ⑤セミナー・研修参加や市の協力

活動内容

- ①奥米地の宿泊施設「ほたるの館」の運営支援
- ②奥米地地域の祭りを支援
- ③施設PRのためのイベント開催
- ④SNSを使った情報発信
- ⑤セミナー・研修参加や市の協力

① ほたるの館 宿泊業務

宿泊施設「ほたるの館」の業務を、
2年7か月間お手伝いしていました。
令和3年10月に新支配人が就任し、
新体制がスタート。
業務の引継ぎを行った後、私は、
令和3年12月31日をもって、ほたるの館
の業務から卒業をしています。

施設紹介

バンガロー 8 棟 / 本館 7 部屋 / めいじ館 4 部屋 /
高齢者センター(宴会) / 木工室 / めいじキララ / 喫
茶室 / 室内BBQ施設いろいろ / 自然観測施設



建	物：市の指定管理施設	管理者：ほたるの里づくり協議会
代	表：村崎定男さん	構成員：奥米地地域の住民

宿泊に来られるお客様への対応がメイン

通常期は土曜日に予約が集中する。

繁忙期は、ひと月で200名前後の来客があり
1週間超えの連日勤務にあたることもある。

6月、7月、8月
蛍、夏休みシーズン

5月、10月
大型連休があるシーズン

12月末、1月
年末年始シーズン

とある1日の業務内容	時間	詳細
予約状況の確認	朝昼夕	PC/FAXの紙/電話
チェックアウト対応	朝	宿泊客の見送り
換気・室内除菌	午前	2020年～コロナ対策
ゴミ・シーツ回収	午前	使用した箇所全部
室内清掃・セッティング	午後	当日使用する部屋
BBQ食材準備・買い出し	午後	野菜カット・炊飯
チェックイン対応	15:00	2020年～検温・名簿
お客様対応	15:00	案内など
SNS投稿やチェック等	16:00	PC作業
翌日準備、シフト調整	17:00	浴槽の湯沸かし等



活動内容

- ①奥米地の宿泊施設「ほたるの館」の運営支援
- ②奥米地地域の祭りを支援
- ③施設PRのためのイベント開催
- ④SNSを使った情報発信
- ⑤セミナー・研修参加や市の協力

②地域のお祭り

奥米地には毎年6月になると、ほたるが数千匹飛び交う豊かな自然環境があります。この時期に合わせて住民の方々が総出で観光客をお迎えする「**ほたる祭り**」を開催。手作りの出店や交通整備を行います。

10月の秋まつりは、国の無形文化財に指定された「**ねっくい相撲**」の神事が、水谷神社にて執り行われます。



2019年撮影：「ほたる祭り」の準備をする奥米地の皆さん

地域活動のお手伝いがメイン

ほたる祭り

6月中旬に週をまたぎ3日間行う（2019年は4日間開催）

例年およそ1,500台を超える来場がある

・2019年

お祭りの運営会議に出席、実行委員会の一員。

Twitterで駐車場案内の情報発信・唐揚げ係を担当。

お祭りでは他にも、カレー、おでん等多数の出店。

すべて地域の方の手作りです。

食材の買い出し、仕込み（前日・翌日）も支援した。

・2020～2021年は

コロナの影響で、中止（情報発信のみのお手伝い）。

秋まつり

地域の伝統行事「笹踊り」

国の無形文化財「ねってい相撲」

・2019年

ねってい相撲保存会からの依頼、

お祭りの様子を動画・写真にて記録。

・2020～2021年は

コロナの影響で中止（情報発信のみのお手伝い）。

・2022年

ねってい相撲保存会と、松井 喜雄隊員による

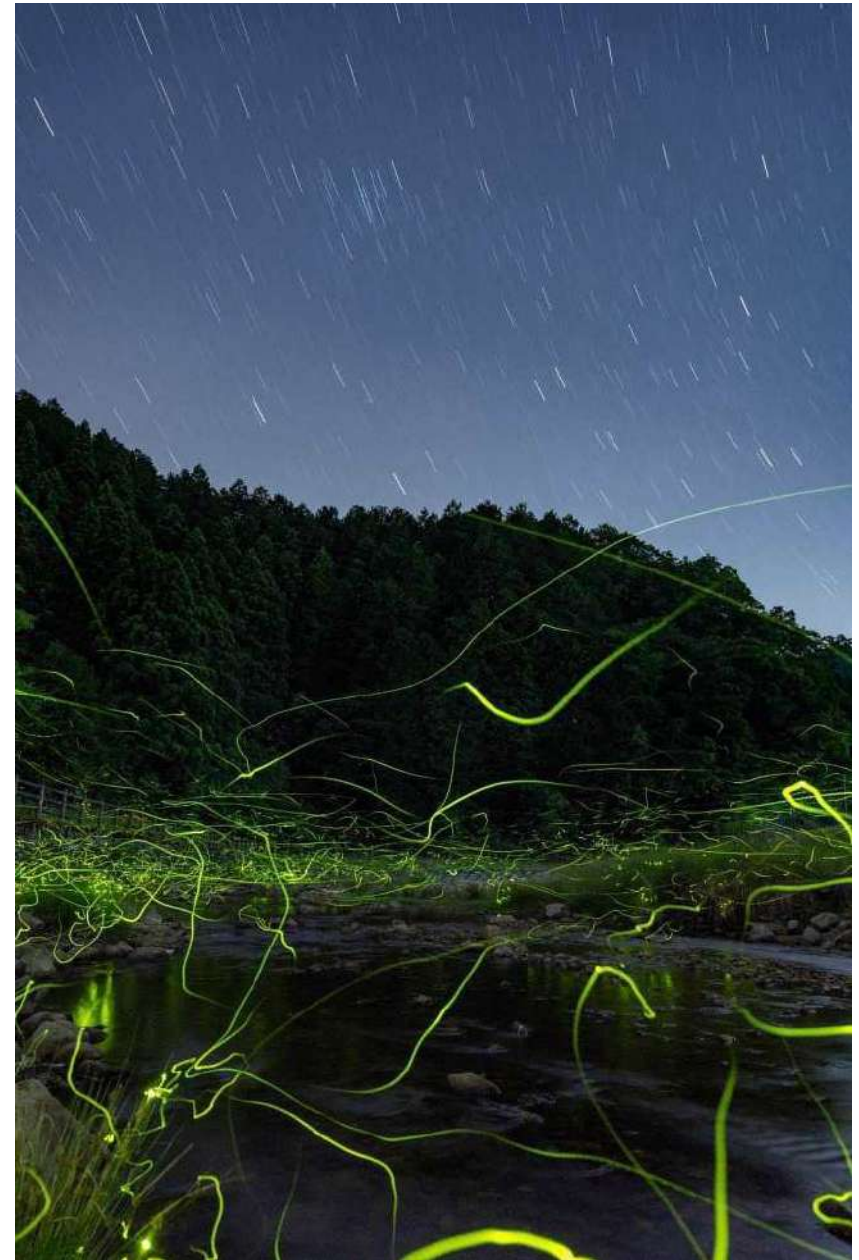
「動画制作プロジェクト」に一部協力した。



2019年撮影：上から見る「ねってい相撲」



2019年ほたる祭り会場の様子



2021年ほたる写真【撮影：奥米地ほたるカメラマン】

活動内容

- ①奥米地の宿泊施設「ほたるの館」の運営支援
- ②奥米地地域の祭りを支援
- ③施設PRのためのイベント開催
- ④SNSを使った情報発信
- ⑤セミナー・研修参加や市の協力

③PRイベント

「ほたるの館」や奥米地地域をPRするためのイベントを開催しました。同時に、施設の新しい活用方法や魅力を見出すことが出来ました。

イベントを通じて奥米地を訪れた方からは「初めて来たけど良い場所だね。」「ちいきのご年配の方々が元気でいいね。」などと、沢山の声をかけていただきました。奥米地地域の皆さんとも仲良くなるキッカケになりました。



2019年撮影：ほたるの館のスタッフさんとお料理会

目的は、ほたるの館を広く知ってもらう為のPR・ファンづくり

※イベント開催数のべ115回のうち、一部抜粋

イベント名	回数	場所	対象者	関係が生まれた人数	補足
おひるごはん作って食べようの会	5	喫茶室・宴会室・調理室	ほたるの館スタッフ	7名	地域のかたとふれあうための気軽な会
ほたるの館のSDGS	25	施設全域	ほたるの館スタッフ	7名	施設メンテナンスを計画的に行う支援
県内地域おこし協力隊セルフ交流会	3	BBQ施設いろいろ・ほたるの館本館	県内隊員の仲間やOBOG	40名	隊員間のネットワーク構築、施設や市のPR
竹ランプイルミネーション (点灯日数)	9	ほたるの館・めいじ館・野外ガレージ	奥米地地域、市民のかた	150名以上	2019年から3年間継続。施設PRや 関係人口・地域交流の創出
ドライブインシアター	1	めいじキララ	市民のかた	70名	当日参加は30台

作品づくりワークショップを開催



2019年

- ・奥米地の皆さんに「見せる」ため、自分達主体でつくる
- ・若い男女の**交流企画**も兼ねる
- ・同年代の仲間づくり
「竹遊会」との出会い



2020年

- ・奥米地地域の皆さんと一緒に「つくる」**交流**を生む
- ・地域の方々の作品展も開催
俳句や短歌、
手芸品・子供たちの絵を飾る



2021年

- ・知名度が少しアップ
- ・リピーターが付き**関係人口**を実感
- ・イルミネーション（作品展示）
自体の精度を上げる
- ・「竹遊会」として自走していく為
のシステムについて考察中

2021年12月撮影：点灯の様子



活動内容

- ①奥米地の宿泊施設「ほたるの館」の運営支援
- ②奥米地地域の祭りを支援
- ③施設PRのためのイベント開催
- ④SNSを使った情報発信
- ⑤セミナー・研修参加や市の協力

④ SNSを使った情報発信

目的別に、合計 14 個を運用

- 情報発信・PR
- 地域おこし協力隊の活動を見える化する
- 広範囲の情報収集
- 事業運営として活用
- 共同運営者として依頼されたもの

情報を収集・交換・伝達する目的



フェイスブック

- ・うどのひとみアカウント
- ・複数のフェイスブックページの運用



インスタグラム

- ・ほたるの館、宿泊利用者向け（HPに反映）フォトギャラリーとして活用
- ・個人ブログ
- ・イベント発信用



Twitter

- ・宿泊利用者向け、ほたる祭り参加者に向けた（HPに反映）の情報発信



LINE

- ・気軽な連絡先交換ツール
- ・地域の年配の方への情報発信

活動内容

- ①奥米地の宿泊施設「ほたるの館」の運営支援
- ②奥米地地域の祭りを支援
- ③施設PRのためのイベント開催
- ④SNSを使った情報発信
- ⑤セミナー・研修参加や市の協力

⑤ その他

県内外のセミナー・研修には積極的に参加。県内隊員や関係者、OBOG隊員の方々とのつながりづくりや交流を行うことは大切なことだと感じています。

市の制作物への協力や取材などの記事、メディア出演も経験しPR活動をしました。

県や他市からの関係

- ・ひょうごナビ 記事に2回登場（大屋エリア・養父エリアのPR）
- ・サンテレビ 地域おこし協力隊のインタビューに登場
- ・オンライン登壇 5回

新聞社の掲載

多数

市の制作物

のちほどスライドにて



市の制作物に協力

- ・2019年やぶぐらし課が発行
- ・移住希望者や移住フェアにて配布される

移住促進ブック「やぶぐらし」

- ・2021年やぶぐらし課が発行
- ・冊子でもウェブでも読める、女性目線での養父市の暮らしを紹介

冊子「よむやぶ」

- ・2022年2月養父市役所が発行
- ・やぶ市広報の新コーナー「地域おこし協力隊の活動発表」に登場

やぶ市広報 第215号

ケーブルテレビ「やぶぐらしびと」他

- ・2020年情報課の「移住者に聞く田舎暮らしやぶぐらしびと」インタビューを受ける（のちに、YouTube動画もアップ）
- ・ビデオ日より投稿を5回活用



養父市環境基本計画

- ・2021年～2022年、環境推進課が作成
- ・一般公募枠として策定委員会に出席

新聞社さま各社

ご関心を寄せていただき、ありがとうございました！神戸新聞社・読売新聞社・北近畿経済新聞社・朝日新聞社・地元の販売店だよりの皆様。



◆クリスマスに竹あかり
養父市奥米地の宿泊施設「ほたるの館」周辺で、竹灯笼1

00本が設置されている。写真真。地域おこし協力隊の鶺鴒さん(31)らがクリスマスに合わせて企画。午後7〜10時に点灯し、優しい光を放っている。25日まで。

灯笼は同市八鹿町高柳などの住民有志が協力し、竹筒にハート形などをかたどった穴をくりぬいた。発光ダイオード(LED)の電球を入れて点滅させることで幻想的な雰囲気演出。鶺鴒さんは「奥米地はホテルの名所。冬は竹あかりの光を楽しんで」と呼び掛けている。(桑名良典)

ニュースふぁいる



ほたるの館で いい出会い

養父・奥米地で来月14日 婚活の催し

「ほたるの館」(養父市奥米地)で、来月14日(土)に「ほたるの館」で婚活の催しを開催する。この催しは、奥米地の魅力を伝えるとともに、奥米地を舞台にした婚活の場を提供している。

婚活の催しは、奥米地の魅力を伝えるとともに、奥米地を舞台にした婚活の場を提供している。



竹灯笼 地域ににぎわいを

養父・奥米地で 文化祭

「ほたるの館」(養父市奥米地)で、来月14日(土)に「ほたるの館」で婚活の催しを開催する。この催しは、奥米地の魅力を伝えるとともに、奥米地を舞台にした婚活の場を提供している。

広大まわしよみ

竹灯りがつなぐ縁

今年も一年、お世話になりました。

「ほたるの館」(養父市奥米地)で、来月14日(土)に「ほたるの館」で婚活の催しを開催する。この催しは、奥米地の魅力を伝えるとともに、奥米地を舞台にした婚活の場を提供している。

配達の流れに理解を
 もしもの備えに電子版のご検討を

「ほたるの館」知って

養父市奥米地の宿泊施設「ほたるの館」(養父市奥米地)で、来月14日(土)に「ほたるの館」で婚活の催しを開催する。この催しは、奥米地の魅力を伝えるとともに、奥米地を舞台にした婚活の場を提供している。

「ほたるの館」(養父市奥米地)で、来月14日(土)に「ほたるの館」で婚活の催しを開催する。この催しは、奥米地の魅力を伝えるとともに、奥米地を舞台にした婚活の場を提供している。

活動内容

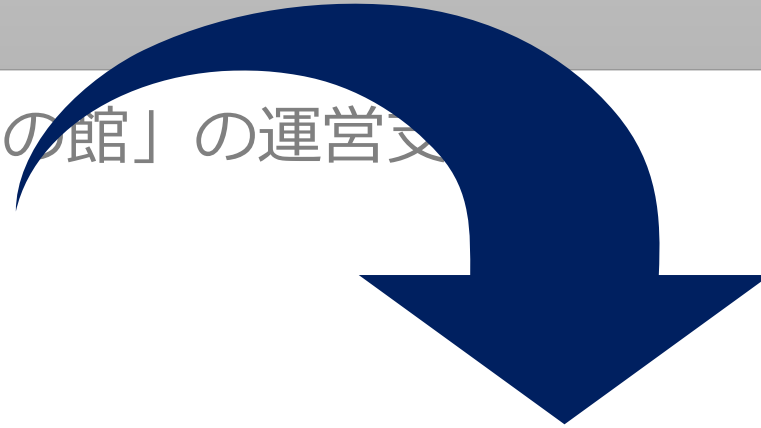
①奥米地の宿泊施設「ほたるの館」の運営支援

②奥米地地域の祭りを支援

③施設PRのためのイベント開催

④SNSを使った情報発信

⑤セミナー・研修参加や市の協力



まとめ！

**3年間のふり返りと、
これから**

活動をふり返って

気が付いたこと

みなさんの暮らしや日常は「忙しい」（地域の皆さん、元気いっぱい活動）。すべての活動や行動が線につながっている。良くも悪くも見て頂いている。情報をいち個人で伝えていくことには限界がある。

良かったこと

名前や顔を覚えてもらったこと。
地域や世代を超えた交流や出会いを経験できたこと。

活動をふり返って

周囲の変化を感じたこと

地域おこし協力隊制度の理解者や、協力者、興味・関心層が増えた。
「なにかしてみたい」と感じている同年代が動き始めていること。

自分が変わったこと

喜怒哀楽ができる真人間になった。PC操作、SNSができるようになった。
「頼みたい」「一緒にやりたい」と言ってもらえる機会が増えた！

これから

- ◆養父市の課題解決に向け、引き続き市内で活動（一般社団法人 田舎暮らし倶楽部と協力をして「移住促進窓口」業務を行う）
- ◆総務省による「新型コロナウイルス感染症により活動に影響を受けた地域おこし協力隊員の任期特例」を活用し、地域おこし協力隊を継続
- ◆一般社団法人 兵庫県地域おこし協力隊ネットワーク事務局として、活動